令和7年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者制度導入の適否」に係る審査）

1 開催日時 令和7年5月12日（月） 14：30～14：45

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室

3 対象施設 青森市ふれあい農園

4 出席者

(1) 選定評価委員 委員長 沢木正明（企画部次長）
副委員長 越後谷和人（総務部次長）
委員 池田享誉（青森公立大学准教授）
委員 松本博子（東北税理士会青森支部税理士）
委員 福島清裕（福祉部次長）
委員 太田直樹（こども未来部次長）

(2) 施設所管課（農林水産部農業振興センター）

所長 櫻田新司
主幹 山口真
主幹 吉崎雅幸
主査 木立慎吾

(3) 制度所管課（企画部行政資産経営課）

課長 岩渕寿哉
主幹 長内寛幸
主査 櫻田博光
主査 赤坂勇亮

5 案件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査

6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で次のとおり了承された。

- (1) 指定管理者制度導入の適否：適
- (2) 指定期間：5年間
- (3) 利用料金制：なし
- (4) 募集形態：公募
- (5) グルーピングの適否：なし（単独施設）

7 主な質疑内容

委員：指定管理者制度導入施設の概要調書の（２）財務状況のところ、市の歳入の使用料等と指定管理者の収入の利用料金等で、どのような違いがあるのか。

施設所管課：市の歳入の使用料等とは、こちらの施設の利用料金として条例で定めており、利用者から徴収するもの。指定管理者の利用料金等の欄の収入は、指定管理者制度におけるいわゆる利用料金ではなく、自主事業として行っている加工体験講座の参加料金を参加者からいただいているものである。

委員：市の歳入の使用料は、収納事務の手続は市で手続しているのか。

施設所管課：使用料の収納については、また別個に委託契約をしており、指定管理者の翌営業日に市の方に収納してもらっている。

委員：使用料収納事務の効率化の観点から、一部利用料金制導入の検討余地があるのではないか。

施設所管課：利用料金制導入に当たっては自主的な努力を発揮しやすくし、事務の効率化が図れるメリットがある一方で、指定管理者が利用料金減収のリスクを背負うデメリットもあり、来年度からの利用料金制の導入は難しいため、5年後の募集に向けて、次期指定管理者の意見も参考に検討していく。